

## 岐阜県立山県高等学校

学 校 長 藤 木 節 子  
学 校 住 所 岐 阜 県 山 県 市 中 洞 4 4 - 1 電 話 0581-52-1551

- 1 会議の名称 岐阜県立山県高等学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- |     |       |                   |
|-----|-------|-------------------|
| 委 員 | 乾 幸雄  | 元富岡小校区青少年育成市民会議会長 |
|     | 後藤 信幸 | 地域住民代表            |
|     | 鷺見 紫  | 塾講師               |
|     | 古田 雅通 | 中洞自治会長            |
|     | 吉田 安孝 | (有)吉田製作所取締役社長     |
- (委員名は五十音順)

学 校 側

澤田 寿秋	P T A 会長
藤木 節子	校長
野田 光浩	教頭
川田 八重子	事務長
籠橋 数浩	教諭 (教務主任)
宇野 雅浩	教諭 (生徒指導主事)
小泉 淳	教諭 (進路指導主事)
加藤 雅景	教諭 (特別活動部長)

- 3 会議の目的 岐阜県立山県高等学校の学校運営について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進することを目標とする。
- 4 会議の開催
- 日 時 : 平成23年6月22日 (水) 10:00~12:00  
場 所 : 山県高等学校 校長室  
出席者 : 委員5人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要

挨拶・日程説明  
授業参観  
意見交換

- 平成23年度学校教育方針と指導の重点について
- ・平成23年度岐阜県立山県高等学校マニフェストについて
  - ・教務部の取組
  - ・生徒指導部の取組
  - ・進路指導部の取組
  - ・特別活動部の取組
  - ・その他

学校評議員からの提言・感想

### (1) 平成23年度学校教育方針と指導の重点について

教頭より、本校の今年度の方針と指導の重点を理解していただくために、次の事項を説明した。

- 平成23年度岐阜県立山県高等学校マニフェストについて
- ・学校教育目標と4つの実践項目
  - ・今年度の具体的な重点目標

(2) 教務部の取組について

教務主任が学校要覧を用いて次の事項を説明した。

- ・教務部の方針と重点
- ・個々の生徒の学力伸長のために、今年から基礎学力定着のためのステップアップカリキュラム研究開発推進事業の調査協力校として、調査研究に取り組む。

(3) 生徒指導部の取組について

生徒指導主事が学校要覧を用いて次の事項を説明した。

- ・生徒指導部の方針と重点
- ・時間、公私のけじめの指導
- ・問題行動の未然防止指導

(4) 進路指導部の取組について

進路指導主事が学校要覧を用いて次の事項を説明した。

- ・進路指導部の方針と重点
- ・キャリア教育充実のための方法（各学年に進路体験的行事を配置）

(5) 特別活動部の取組について

特別活動部長が学校要覧を用いて次の事項を説明した。

- ・特別活動部の方針と重点
- ・重点目標達成のための方法  
（生徒会活動、部活動、行事を通して、自主性・積極性を伸ばす）

(6) その他

\*\*\* 意見 \*\*\*

意見1 MSリーダーズは何人であり、生徒の意識はどうか。

回答1 32人が警察署から認証してもらっている。自主的に入る生徒は毎年おり、認証式でしっかりした決意表明をしている。

意見2 3年生まで部活動を続ける生徒を増やすにはどうしたらよいか。

回答2 部活動はそもそも自由参加が基本だが、1年生で土台づくりをし、続ける姿勢を養うのが大切。本校は公共交通機関が不便であるため、保護者の理解と協力も大切。

意見3 学校要覧を見ると、自転車通学で遠くからの生徒もいて、交通事故が心配。

回答3 最も危ないのは、下校時に、本校から南にある馬坂トンネルを下るとき。自分の命を守るように諭しているが、繰り返す場合、自転車通学を禁止する指導も考えている。

意見4 少子高齢化社会になり、子どもたちは、特別に、かけがえのない存在。現在、小・中で身に

つけておくべきことを、高校で取り組んでいる。家庭の問題で学習に十分取り組めなかった子も、小・中では、はからずもいる。自分から取り組むようになれば、伸びは大きい。しかし、その心をどのようにつくるのが難しい。  
小学校の交通当番で、岩佐に立っていると、山県高校の生徒も、皆、挨拶をしてくれる。生徒たちは、目が優しくなっている。それは、子どもは裏切るものということを前提にして、先生方が手厚くしてくれているおかげと思う。

意見 5 昨年、弁当の日を企画した。高校卒業までに少しでもできるようになっていると、卒業後、家族のためになる。今年、山県高校ではどんな予定か。

回答 5 全校をあげての体制はまだである。大切なことなので、意識を高め、保護者にもお願いしたい。

意見 6 学校が熱心に取り組んでいることを、強く感じた。でも、なかなか変わっていかないときは、家庭との連携が大切。  
授業の少人数指導は、先生の目が行き届くので、先生の熱い思いが伝わっている子や、熱心な子が、参観時に見られた。そういう子を認めてあげ、言葉をかける場を、少しでも多くつくってあげられたら、と思う。

## 6 会議のまとめ

すぐにできることを取り入れ、学校の運営に生かしたい。今後も、外から見て、提言をお願いします。また、資料には主な行事日程を載せました。それらの時には改めてご案内しますので、できるだけお越しいただき、生徒を見てください。